

向こう1か月の天候の見通し

中国地方（4月21日～5月20日）

広島地方气象台

予報のポイント

- 期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 暖かい空気に覆われて、1週目と2週目の気温は高く、3～4週目は平年並か高いでしょう。このため、向こう1か月を平均した気温も高い見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
中国地方	山陰	低 10 並 20 高 70% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	山陽		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み





週別の天候

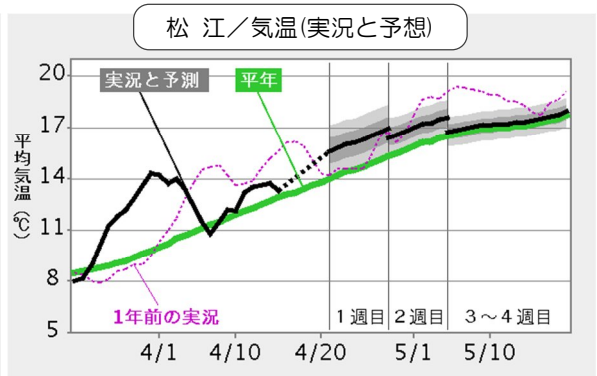
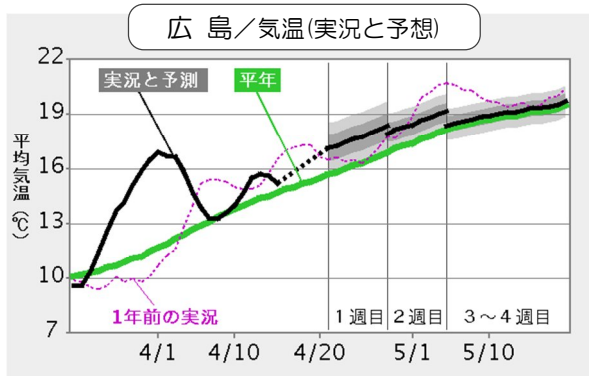
(1週目) 4/21～27	(2週目) 4/28～5/4	(3～4週目) 5/5～18
期間のはじめは高気圧に覆われて晴れますが、その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の天気となるでしょう。	高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。 平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わるでしょう。 平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 4/21~27	平均気温（2 週目） 4/28~5/4	平均気温（3~4 週目） 5/5~18
中国地方	低 10 並 20 高 70% 高い見込み	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並が高い見込み
 数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3~4週目） 
	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も 40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も 40% 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も 40% 高い確率 (%) 40 50 以上



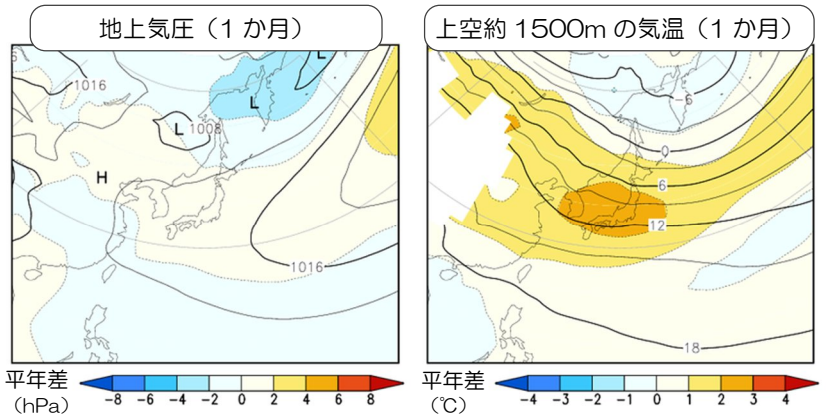
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

↑ 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本のはるか東から日本付近を経てモンゴル付近にかけては平年より高い予想です。一方、その他の地域では、カムチャツカ半島付近を中心に平年より気圧の低い所が多い予想です。

上空約 1500m の気温（右図）は、東・西日本を中心に日本付近は広く平年より高い予想です。

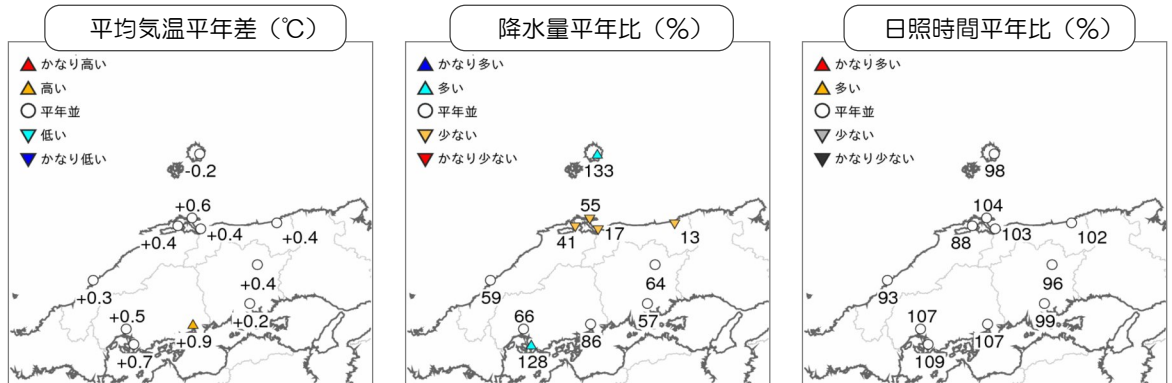


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

4/12~18

高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わりました。



(実況) 4/12~18		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	山陰	+0.4℃ (平年並)	53% (少ない)	98% (平年並)
	山陽		80% (平年並)	104% (平年並)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
中国地方	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.6~+0.7℃	平年差：-0.5~+0.7℃	平年差：-0.4~+0.4℃
松江	15.8~16.4℃	13.8~15.4℃	15.2~16.6℃	16.6~17.4℃
広島	17.5~18.2℃	15.6~16.9℃	16.9~18.0℃	18.4~19.2℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
山陰	平年比：77~117%	平年比：96~108%
山陽	平年比：78~112%	平年比：94~108%
松江	85.3~130.2mm	171.1~195.8 時間
広島	113.6~174.8mm	171.3~198.4 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	16.5 日	9.4 日	4.1 日	2.3 日	4.2 日	2.3 日	8.2 日	4.8 日
広島	16.7 日	8.5 日	4.2 日	2.2 日	4.1 日	2.1 日	8.4 日	4.3 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の4.0%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない)：平年並：高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上	高い(多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上	低い(少ない) 見込み